

围棋圣经

大世界出版有限公司

玄玄棋经
●
珍珠破解

晏天章 严德甫著



前 言

“莫将戏事扰真情，且可随缘道我赢。战罢两奁收白黑，一枰何处有亏成。”这是宋代大文人王安石的一首咏棋诗，把一个黑白世界，洒脱人生描绘得酣畅淋漓，令人叫绝。围棋，在我们祖先那里，是文人学士的雅戏。在今天，却成为一种全社会的时尚。朋友搏战，爷孙对弈，其味也有三，其乐也融融。围棋已成为一种启人智慧，助人长进的一种群众活动。

《玄玄棋经》的出现，是围棋史上的重大事件。为元代庐陵人氏晏天章、严德甫共同编著。分礼、乐、射、御、书、数六卷，收录了张拟的《棋经十三篇》、刘仲甫的《棋诀》等理论著作；有棋盘路图、起手图、起手法，以及直三、曲四、花聚五、神艺六、金圭七等死活的基本图形；有卷帘式、莲花角、倒垂莲等边角定式，最令人瞩目的，对棋界影响最大的是它的珍珑之部。被棋界尊为“围棋圣经”。

金庸在《天龙八部》中，曾摆下一局绝妙珍珑棋局，惹得无数弈手心乱神迷，虽虚竹能置之死地而后生，但尽属因缘巧合而已。在《玄玄棋经》中，珍珑之部的诘棋就足有三百余题，其中多少凄然手段，多少生死命门。局中之局，

劫中之劫，步步有陷阱，着着有杀机。其次序稍有差迟，其精思稍有错算，结果都大相庭径。它足令弈者流连忘返，沉醉其中，亦足能启发思路，增长才智。

从元、明直到清中期的四百多年间，广为流传的古谱只有《玄玄棋经》一部著作，惜一直无人整理。后来，该书传至日本，引起日本围棋界的广泛关注。许多高手纷纷为之诠释注解。成为对日本围棋发展最具影响的一本书。本世纪六十年代，才有日本的九段高手、“诘棋大家”、关西棋院的创始人桥本宇太郎先生，对《玄玄棋经》作了全面的整理，进行了富有天才的破解。而在大陆却未见刊本。今援据桥本宇太郎的整理成果，稍加变通，编次成《玄玄棋经·玲珑破解》，意欲为我国围棋爱好者提供一个方便。

正如《玄玄棋经》所说的，从古到今还没有下出过一局相同的棋，所以不论何处都会隐藏着妙手。围棋这个东西实在太玄妙了，从一手一手探讨无止无境的意味来说，棋士和求道者是一样的。我们深信，只要认真研究这本“圣经”，就能充实相当的棋力。

青山不厌千杯酒，白白惟消一局棋。

大世界出版有限公司

一九九五年九月

目 录

前言	(1)
第一章 棋经	(1)
一 序	(3)
二 论局	(7)
三 得算	(8)
四 权舆	(9)
五 合战	(9)
六 虚实	(11)
七 自知	(11)
八 审局	(12)
九 度情	(13)
十 斜正	(14)
十一 洞微	(15)
十二 名数	(17)
十三 品格	(18)
十四 杂说	(19)
十五 布置	(21)
十六 侵袭	(22)
十七 用战	(22)
十八 取舍	(23)

第二章 玲珑破解 (25)

角 部

- 一 小巧势 (27)
- 二 昭君陷虏 (28)
- 三 猪嘴势 (29)
- 四 大猪嘴势 (30)
- 五 五通终降 (31)
- 六 六鹤退飞 (32)
- 七 六服归周 (33)
- 八 六伏势 (34)
- 九 六国归秦 (35)
- 十 六朝混一 (36)
- 十一 六道士逢厄 (37)
- 十二 太乙真人 (38)
- 十三 猛虎驱羊 (39)
- 十四 奇远势 (40)
- 十五 五龙闲游 (41)
- 十六 五胡宾从 (42)
- 十七 蛇化龙势 (43)
- 十八 小机括 (44)
- 十九 老僧入定 (45)
- 二十 神化势 (46)
- 二十一 细妙势 (47)
- 二十二 察细势 (48)
- 二十三 七贤势 (49)
- 二十四 隐山谷势 (50)
- 二十五 相如归璧 (51)
- 二十六 六贵同朝 (52)

二十七	夺槊	(53)
二十八	破竹势	(54)
二十九	六龙御天	(55)
三十	三仙出洞	(56)
三十一	三星献瑞	(57)
三十二	奇兵势	(58)
三十三	孙膑陷庞涓	(59)
三十四	寸心千里	(60)
三十五	德二三势	(61)
三十六	味中有味	(62)
三十七	点绛势	(63)
三十八	朱顶鹤势	(64)
三十九	吉祥势	(65)
四十	大吉祥势	(66)
四十一	测奸亡秦	(67)
四十二	赚关势	(68)
四十三	四老出山	(69)
四十四	玄中玄势	(70)
四十五	七星势	(71)
四十六	商山逸老	(72)
四十七	田横自刎	(73)
四十八	三虎出峡	(74)
四十九	金不换	(75)
五十	十士换	(76)
五十一	典琴沽酒	(77)
五十二	赌绯势	(78)
五十三	鹰拿群鹭	(79)
五十四	两扑势	(80)

五十五	二子入洞	(81)
五十六	神龙脱骨	(82)
五十七	菱叶穿萍	(83)
五十八	文昌势	(84)
五十九	仙鼠势	(85)
六十	子房归山	(86)
六十一	申吟断臂	(87)
六十二	三乔求仙	(88)
六十三	寒灰自暖	(89)
六十四	五龙翻身	(90)
六十五	飞蛾投火	(91)
六十六	妙思入神	(92)
六十七	孙臆捉庞涓	(93)
六十八	龟尾势	(94)
六十九	当朝独立	(95)
七十	玄中又玄	(96)
七十一	二子争功	(97)
七十二	四门斗底	(98)
七十三	造玄势	(99)
七十四	象牙势	(100)
七十五	难测势	(101)
七十六	倒拔蛇势	(102)
七十七	三生势	(103)
七十八	采凤翻身	(104)
七十九	入穴取虎	(105)
八十	五虎陷阱	(106)
八十一	凤凰双翅	(107)
八十二	八圣擒妖	(108)

八十三	田文度关	(109)
八十四	迷仙势	(110)
八十五	金蝉退壳	(111)
八十六	平砂落雁	(112)
八十七	破屏风	(113)
八十八	五龙摆尾	(114)
八十九	玉匣藏珠	(115)
九十	四公子势	(116)
九十一	凤凰单翅	(117)
九十二	二子分忧	(118)
九十三	六丁神将	(119)
九十四	细妙势	(120)
九十五	栈深势	(121)
九十六	五气朝元	(122)
九十七	势均力敌	(123)
九十八	孙膑诈死	(124)
九十九	兴贤势	(125)
一〇〇	樊哙八项门	(126)
一〇一	高祖解荣阳	(127)
一〇二	将军出寨	(128)
一〇三	枯木逢春	(129)
一〇四	翻云覆雨	(130)
一〇五	荆山玉势	(131)
一〇六	入妙势	(132)
一〇七	仙老炼丹	(133)
一〇八	九老优游	(134)
一〇九	八王走马	(135)
一一〇	十玉走马	(136)

一一一	小铁网	(137)
一一二	大铁网	(138)
一一三	仙机势	(139)
边 部		
一一四	神奇势	(141)
一一五	五曜呈祥	(142)
一一六	神奇通变	(143)
一一七	八蛮从化	(144)
一一八	六骑突围	(145)
一一九	钩巨势	(146)
一二〇	玄妙势	(147)
一二一	烹鹅势	(148)
一二二	不事边功	(149)
一二三	半屏风势	(150)
一二四	宝鸾势	(151)
一二五	二将突围	(152)
一二六	八烈势	(153)
一二七	双雕势	(154)
一二八	彩云	(155)
一二九	太乙莲舟	(156)
一三〇	幽玄势	(157)
一三一	喜鹊啖枝	(158)
一三二	鹤唳奔师	(159)
一三三	野狐箭	(160)
一三四	八龙生津	(161)
一三五	项羽举鼎	(162)
一三六	十王飞骑	(163)
一三七	火内莲花	(164)

一三八	刘仲甫势	(165)
一三九	偷营势	(166)
一四〇	用间势	(167)
一四一	存三抱一	(168)
一四二	清远势	(169)
一四三	死中得活	(170)
一四四	习桃势	(171)
一四五	方朔偷桃	(172)
一四六	王陵研营	(173)
一四七	隔岸呼船	(174)
一四八	玄女磨镜	(175)
一四九	曲水势	(176)
一五〇	揭钵势	(177)
一五一	秦王带剑	(178)
一五二	群珠势	(179)
一五三	破奸九子	(180)
一五四	自然势	(181)
一五五	偷营劫寨	(182)
一五六	黄河九曲	(183)
一五七	秋蝉饮露	(184)
一五八	金鱼换酒	(185)
一五九	小筵篲势	(186)
一六〇	水落石出	(187)
一六一	虎牙势	(188)
一六二	骊龙抱珠	(189)
一六三	玄妙势	(190)
一六四	长虹饮水	(191)
一六五	龙归洞府	(192)

一六六	龙牙势	(193)
一六七	清丘势	(194)
一六八	通玄势	(195)
一六九	大筌篨势	(196)
一七〇	十面埋伏	(197)
一七一	盘蛇势	(198)
一七二	困彪脱阱	(199)
一七三	运筹决胜	(200)
一七四	八龙升天	(201)
一七五	七子之母	(202)
一七六	奇捷势	(203)
一七七	野猿过水	(204)
一七八	高祖斩蛇	(205)
一七九	单井势	(206)
一八〇	蛟龙玩珠	(207)
一八一	八子醉桃源	(208)
一八二	洞庭秋月	(209)
一八三	二士桃源	(210)
一八四	金锁闭匣	(211)
一八五	克用归唐	(212)
一八六	楚汉争锋	(213)
一八七	会八仙	(214)
一八八	飞鱼势	(215)
一八九	左右逢源	(216)
一九〇	机玄势	(217)
一九一	老子还魂	(218)
一九二	玄机变通	(219)
一九三	长蛇势	(220)

一九四	鱼游釜中.....	(221)
一九五	八仙过海.....	(222)
一九六	隐微势.....	(223)
一九七	六出祁山.....	(224)
一九八	一将立功.....	(225)
一九九	日重轮势.....	(226)
二〇〇	双换骨势.....	(227)
二〇一	泸水擒纵.....	(228)
二〇二	玲珑势.....	(229)
二〇三	夺标势.....	(230)
二〇四	养虎势.....	(231)
二〇五	刘阮入桃源.....	(232)
二〇六	临危见机.....	(233)
二〇七	枯木重荣.....	(234)
二〇八	一夫当关.....	(235)
二〇九	高祖在荣阳.....	(236)
二一〇	精义入神.....	(237)
二一一	妙算无穷.....	(238)
二一二	高祖困荣阳.....	(239)
二一三	讲武势.....	(240)
中央·攻杀部		
二一四	龟势.....	(242)
二一五	明珠出海.....	(243)
二一六	金精炫晕.....	(244)
二一七	游鱼入网.....	(245)
二一八	玉钩势.....	(246)
二一九	二桃三士.....	(247)
二二〇	云起成霞.....	(248)

二二一	猛虎投林	(249)
二二二	大旋风势	(250)
二二三	五将争锋	(251)
二二四	清远连壁	(252)
二二五	小巧势	(253)
二二六	金钩势	(254)
二二七	鉴台势	(255)
二二八	四皓下山	(256)
二二九	莫识势	(257)
二三〇	对面千里	(258)
二三一	五龙出水	(259)
二三二	五子之歌	(260)
二三三	锦机错综	(261)
二三四	诈降势	(262)
二三五	五虎入山	(263)
二三六	神化自然	(264)
二三七	八仙长啸	(265)
二三八	猛虎奔林	(266)
二三九	烂柯势	(267)
二四〇	采樵势	(268)
二四一	潮源翻浪	(269)
二四二	长空射雁	(270)
二四三	千层宝塔	(271)
二四四	明皇游月宫	(272)

第三章 定势·对局部 (273)

定势部

一	天地覆载图	(275)
二	晋玉琬遇仙图	(276)

三	刘仲甫玉井图.....	(280)
四	镇神头.....	(284)
五	黄保破角.....	(289)
六	大角势.....	(292)
七	小角势.....	(298)
八	受二子局面.....	(304)
九	受三子局面.....	(307)
十	斜飞角.....	(309)
十一	野战角.....	(312)
十二	金井栏.....	(314)
十三	入神图.....	(316)
十四	四没入图.....	(318)
十五	两没入图.....	(319)
十六	晋士明新图.....	(320)
十七	背绰角图.....	(321)
十八	钓竿图.....	(323)
对局部		
十九	万寿图.....	(326)
二十	祐神图.....	(327)
二十一	遇仙图.....	(328)
二十二	金明图.....	(329)
二十三	天清图.....	(330)
二十四	兴国图.....	(331)
二十五	上清图.....	(332)
二十六	长生图.....	(333)
二十七	白先图.....	(334)

第一章

棋

经



一 序

昔者尧舜造棋以教其子，或者得疑之以为：丹朱商均之愚，圣人宜教之以仁义礼智之道，岂为傲闲之具，变诈之术，以益其愚哉。

余竊为不然。夫棋之制也，有天地方圆之象，有阴阳动静之理，有星辰分布之序，有风云变化之机，有春生秋杀之权，有山河表里之势。世道之升降，人事之盛衰，莫不寓是。

惟能者，守之以仁，行之以义，秩之以礼。明

据说从前尧舜发明围棋，以之作为教育孩子的工具。

有人对此事抱有疑问。他认为据传尧之子丹朱、舜之子商均智商并不高，如要使他们成为人人仰慕的圣人，应该为之解说仁义礼智的道理，怎可作此打发时间之道具，又教以欺敌之术，而益增其愚昧呢？没有这样的道理！

不过，我不认为围棋是这样的东西。

说起围棋，从其形象观之，子似天之圆，盘似地之方，黑白之争则自然显理著天地阴阳动静的道理。一手一手下下去，盘上棋子有如天上星辰般分布；随着局面的推移，而富有风云不测之变化。也操有生死与夺之大权。而贯穿全局变化之运行恰如山河无分表里所呈现出种种自然的形势。由此观之，世风之厚薄、人事之浮沉，不也可以围棋作为比拟？

从这个角度来想，所谓名人高手，就是在该守的场合能守本分；针锋相